

令和 5 年度		3 学年		商業 科	
教科名	商業	科目名	財務会計Ⅱ (選択C 全商講座)		5 単位
		担当者			
1. 学習目標					
財務会計に関する知識と技術を習得させ、会計責任を果たすことの重要性について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。 また、具体的な企業の財務情報を活用しながら、企業価値評価などにも取り組む。					
2. 使用教材等					
・教科書名		使える財務会計Ⅱ (ネットスクール)			
・副教材名		会計問題集			
3. 学習項目 (学習内容)					
学期	月	単元	学 習 内 容	時間数	考査
1	4	財務会計の基本理念と会計基準	財務諸表の考え方、資産負債・収益費用アプローチ、会計基準の国際的統合	20	中間考査
	5				
	6	財務会計の実際	資産・負債・純資産会計、リース会計	50	期末考査
2	7				
	8	財務会計の実際 企業活動の展開と財務会計	税効果会計、外貨換算会計、キャッシュフロー計算書	35	中間考査
	9				
10	企業集団の会計 財務諸表の活用	企業結合会計、連結財務諸表の作成 企業グループの現状把握、株価の判断材料、企業価値の評価	55	期末考査	
3	11				
	12	監査と職業会計人	監査のプロセスと監査手続、監査意見と監査報告書、職業会計人の社会的役割と倫理	15	期末考査
	1				
2					
3					
4. 評価の観点					
①関心・意欲・態度		財務会計および監査について関心を持ち、その理論と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、会計情報を提供し、活用しようとする態度を身につけている。			
②思考・判断・表現		新しい会計基準や財務会計の基本概念について、なぜ、そのように考えて処理を行うのかなど自ら思考を深め、高度な知識と技術を活用して適切に判断する能力を身につけている。また、その成果を会計情報の提供および活用という形で適切に表現することができる。			
③技能		新しい会計基準に関する会計処理の技術を身につけ、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に提供・活用することができる。			
④知識・理解		新しい会計基準やその処理に関する知識を身につけ、財務会計の基本概念や監査について理解している。			
5. 評価の方法					
・定期考査：		中間考査、期末考査により基礎的内容の定着度を評価する。			
・課 題：		グループ課題を課し、調査研究の結果と取組態度で評価する。			
・授業態度：		日頃の授業への取組状況、出席状況を評価する。			
6. 学習にあたっての注意とアドバイス					
<p>会計学的見地からグループ学習も行うので、積極的に意見交換に参加する態度が望ましい。 10月の会計実務検定受験希望者には個々に対応する。</p>					